



①

①「てんごく」詩・新美南吉 絵・長野ヒデ子 のら書店

おかあさんたちは
みんなひとつの、てんごくをもっています。

『てんごく』より

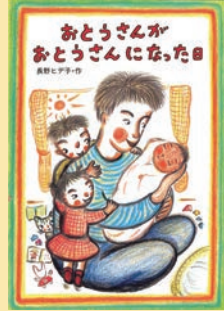
②



③



④



⑤



② 文・新美南吉 絵・長野ヒデ子 偕成社
③～⑤ 文・絵 長野ヒデ子 童心社

新美南吉生誕110年

南吉と長野ヒデ子の母の世界展

令和5年 7.15^土～10.29^日



- 第1期 7/15(土)～9/10(日) 第2期 9/13(水)～10/29(日)
①は全期、②は展示替をして全て展示。③～⑤は展示替をして一部展示。
- 開館時間 9:30～17:30
- 観覧料 観覧料220円(中学生以下無料) ※常設展もご覧いただけます。
- 休館日 7/18(火)・24(月)・31(月)、8/7(月)・8(火)・21(月)・28(月)、9/4(月)・11(月)・12(火)・19(火)、10/10(火)・11(水)・16(月)・23(月)



④「おとうさんがおとうさんになった日」より

【8/11(金・祝)】

ぱたぱた絵本をつくろう!

時間 12:30～15:30 予約不要
場所 新美南吉記念館 工作室
対象 3歳以上(小学生以下保護者同伴)
協力 永井陽子ほか

【8/13(日)】

お母さんと赤ちゃんの世界

～南吉の詩から生まれた絵本「てんごく」～ (第35回 新美南吉顕彰講演会)

時間 13:30～15:30 予約優先
場所 アイプラザ半田 講堂
講師 長野ヒデ子、長野麻子(東京成徳大学教授)の親子対談講演会
※終了後、サイン会あり。12時から絵本版売をしますので、購入し整理券を受け取ってください。

新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL (0569)26-4888 FAX (0569)26-4889
【交通】名鉄河和線/半田口駅より西へ徒歩20分 知多半島道路/半田中央ICより東へ5分
半田市地区路線バス「ごんくる」/知多半田駅(雁宿ホール前)の停留所より15分

新美南吉生誕110年 南吉と長野ヒデ子の母の世界展

令和5年 7.15(土) ~ 10.29(日)

令和5年の新美南吉生誕110年を前に、新美南吉記念館では南吉作品で赤ちゃんのための絵本を記念につくれないものかと検討していました。しかし、南吉作品は最も対象年齢の低いものでも幼児向けです。

そこで南吉の童話「狐」を描き、以前から記念館と関わりのあった絵本作家の長野ヒデ子さんに相談しました。すると長野さんから、思いがけないお話をいただいたのです。

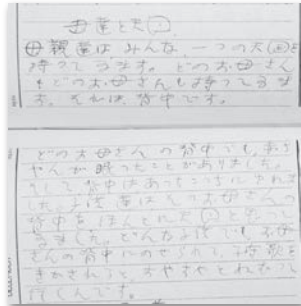
「私は、以前から『天国』の詩を絵本にしてみたかったです。これはきっと、マザースタートになりますよ。」

南吉の詩が絵本になるのは初めてのことです。「マザースタート」も初めて書く言葉でした。これから子どもを迎える人たちのための絵本になるということです。思い返してみると、長野さんの『おかあさんがおかあさんになった日』は、子どもはもちろん大人の心にも響く作品で、特にこれから赤ちゃんを迎える人におすすめしたい絵本です。そんな長野さんが詩「天国」を絵本にしたら、どんなに温かい作品になるだろう——。これから「生まれる」お母さん、お父さん、家族のための絵本なんてすばらしいじゃないかと思いました。

南吉作品には、早くに実母を亡くした南吉の思いからか、しばしば優しく温かい母親が描かれます。そして長野ヒデ子さんは自分自身が母親であったことをきっかけに絵本作りを始めた作家で、たくさんのお母さんを作品の中で描いてきました。絵本『てんごく』、またこれまでの長野さんの作品と合わせて、南吉と長野さんの重なる思いを感じていただけたらと思います。



新美南吉(昭和6年)



詩「天国」の異稿と思われる
詩「母達と天国」



© 小幡崇

長野ヒデ子 profile

昭和16年、愛媛県生まれ。絵本作家。昭和51年、デビュー作『とうさんかあさん』で日本の絵本賞文部大臣奨励賞を受賞。『おかあさんがおかあさんになった日』で産経児童出版文化賞、『せとちたいこさん デパートいきタイ』で日本絵本賞を受賞。紙芝居の創作と普及にも力を入れる。南吉に関する仕事は、『狐』、『あめたま』、『花のき村と盗人たち』、『ごんぎつね』(三省堂・小学4年国語教科書)、紙芝居『ごんぎつね』、『おつきさまにばけたいの』など。紙芝居文化推進協議会会長を長年務める。

展示構成

はじめに

長野ヒデ子 profile

第1章 長野ヒデ子が描くお母さん、そして家族

- ・『おかあさんがおかあさんになった日』原画
- ・『おとうさんがおとうさんになった日』原画
- ・『おばあちゃんがおばあさんになった日』原画

第2章 南吉と描く母への思い

- ・『狐』原画
- ・『てんごく』原画

おわりに



①『てんごく』より

新美南吉生誕祭

両日、記念館無料

生きていたら
110歳!

7/29(土)

- ・人形劇・彼岸花風車づくりなど
- ・正八ちゃんの宵祭り

7/30(日)

- ・生誕祭式典・「ごんぎつね」朗読会
&読み語りコンサート(アイプラザ半田)

ごんの秋まつり

9/20(水)~10/4(水)

- ・矢勝川堤に咲く300万本の彼岸花と各種行事
- ・実際の開花とイベント期間がずれることもあります
- ・イベントや駐車場規制についてはホームページをご覧ください

ミュージアムトーク

学芸員が特別展の解説をします。

日程 7/17(月・祝)・29(土)、
8/6(日)、9/3(日)・18(月・祝)、
10/8(日)・14(土)

時間 11:00~11:30

場所 特別展会場

新美南吉記念館

TEL0569-26-4888

公式HP・SNSもご覧ください。

新美南吉記念館で検索



①『てんごく』より

